夕刊
新京日日新聞
定價 一箇月 金八十錢 三箇月 金二圓三十錢
郵税 一箇月 金十五錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四丁目一番地 電話三三〇〇番・二五二三番
發行人 十河榮忠男 編輯人 松本啓二 印刷人 谷 郎

金融組合法の起草を完了す
近く法制局へ廻附

滿洲國金融組合法は既に財政部で起草を完了、近く法制局へ廻附せられる筈であるが、全滿各地の金融組合設置に先立ち、試驗的に設立した瀋陽復縣兩金融組合の業績も非常な好成績を示して居る、五月末現在の業績左の如し

	瀋陽	復縣
組合員數	四五八人	六一人
組合員貯金高	四七〇圓	八〇圓
團体貯金	三、九九〇圓	
貸出	四八、一〇三圓	四、四八〇圓

道以外の色々の事業は獨立させるより、民間に拂下ぐべきだとの說があるとか云ふのか、そんな事は未だ何も聞かぬ、昭和製鋼所、化學工業も愈々事業を開始する事になつたので、今度は愈々製鹽事業を起し、國家的見地から曹達工業等も起さねばならぬと思ふ

八年度追加豫算に百萬圓を計上
沿線各地の學校增設費に
滿鐵重役會を通過

〔大連八日發國通〕滿洲國成立以來在滿日本人の著しい增加に伴ひ必然的に就學兒童の激增を來し、沿線各小學校は何れも收容力なく滿鐵學務課では之が對策につき九、十兩年度に於ける增加豫想をも考慮に入れ、種々研究を重ねて居るが、應急策として奉天、鞍山に各一校を新設することゝし、新京に於ける學校增設費八年度追加豫算として百萬圓を計上、本日重役會に提出したところ異議なく承認を經た又同じく人口增加に伴ふ沿線病院施設も大擴張を行ふ事となり、鞍山、四平街の傳染病棟を擴張、鞍山は(八十名收容)四平街は、(六十名收容)並びに新京に於ける滿洲國と協同設立する特殊傳染病隔離病舍建設費合計三十萬圓も八年度追加豫算として承認された

撫順の石炭液化事業
成功したが尚採算點に達せず

〔大連八日發國通〕我國燃料問題解決の鍵となる石炭液化は、滿鐵、海軍の共同事業として撫順に於て研究中、昨今漸く成功の域に達したが、採算點に達するには前途尚遠く滿鐵では、之が研究完成に更に一段の拍車をかくべく主として經濟調查會が積極的に乘出すことゝなつた

國務院撮影班出發
秘境蒙古の實情を紹介する

廣く內外に滿洲西部特に秘境蒙古の實情を紹介する目的で國務院情報處で企畫せる映畫(西部滿洲)の撮影班は愈々明十日朝新京を出發、ハルビン、チチハルを經て、同地より奧地へ入る豫定である一行は龜谷情報處員、松竹撮影技師二名、情報處撮影係並びに蒙古語通譯數名で、特に蒙古人の人情風俗の撮影に力を注ぐ筈で、之が完成は頗る期待されてゐる

雨の被害も尠く(滿洲國の農產收穫は五月中の雨量で決する)この分で字通り大豐年を予想されてゐる

英米市場の我が公社債の昂騰
經濟界の鞏固と經濟壓迫の不可能が認められた爲

〔東京八日發國通〕英米市場に於ける我が公社債は最近昂騰の一路を辿るのみでこを聯盟脫退當時の最安價に比すれば五割乃至八割方の恢復である右原因に就ては既報デイリ、メール紙も報じてゐるが、最も注目すべきは日本に對する經濟的壓迫等が到底不可能であつて日本の經濟的基礎が强固である事が各國に漸次認識されるに至つた結果で早くも投資家が之に目を付けた爲である

中銀本支行來る十五日
一週年記念の爲め休業

滿洲中央銀行では來る十五日創立一週年記念の爲め全滿本支行とも休業祝意を表することゝなつた

共產反日中國留學生
廿四名正式起訴

〔東京八日發國通〕警視廳では去る三月十五日我國に留學中の共產系反日中國留學生數十名を一齊に檢擧各署に留置嚴重取調中であつたが、被疑者中廿四名は正式起訴と決定同時に日本共產黨に加へせる本年法政大學を卒業した漆憲彰(二四)外二名に對し八日內務大臣より退去命令を發した

大同電力
無配當を可決

〔東京八日發國通〕大同電力は、重役會議開催の結果、無配當を可決、龍明は年四分配當であつた

日本ウルグワイ通商條約
近く調印

〔東京八日發國通〕日本ウルグワイ兩國間の通商航海關稅に關する最惠國待遇を中心とする通商條約は八日愈々大綱に關する諒解成立し近く正式調印の運びとなる筈である

今年は全滿大豐年

全滿農產物の作付狀況は目下實業部に於て調查中であるが本年は匪害の減少と五月中旬より六月上旬にかけて全滿各地とも適度な雨量に惠れ各種農作物とも發芽發育共に非常に良好で、殊に熱河省內の阿片作付は六十五萬畝に達し滿洲國の專賣事業に襲來する霖

農墾事業を起し
曹達工業をやらねばならぬ
上京を前に林總裁談

〔大連八日發國通〕林滿鐵總裁は九日「うらる」丸で株主總會出席のため上京に決したが、八日記者團と會見左の如く語つた
株主總會出席の爲めで、滯京二十日位の豫定で出來るだけ早く歸任したいと思ふ、滿洲農業移民等に就ても上京すれば、話が出ると思ふが、之は滿鐵だけでは駄目だ、政府が主となつて軍部、滿鐵等協力してやるべきものと思ふ、滿洲の事態變化に伴ひ、滿鐵は鐵

滿洲國に於ける砂糖事情(三)
經濟事情案內所調查

四 全滿輸入額

以上は南滿三港に就て述べたものであるが滿洲國に入る砂糖の經路として、以上の外極く少量ではあるが、哈爾賓鎮井村及び琿春より輸入するものがある、今昭和六年度に於ける右各地の輸入額を見ると次の如くである

北滿及び東滿の糖輸入數量及價格

地名	數量(擔)	價格(海關兩)
哈爾賓	一〇、七六〇	一、〇四四、七七七
鎮井村	一二、〇四九	一三九、三六一
琿春	五、七〇三	五四、一三三
計	一二三、六一二	一、一三八、三一〇

此れに南滿三港の輸入額を加へたもの、即ち全滿洲の砂糖輸入の總計を見るに次の如くである

全滿砂糖輸入量及價格三年比較

年別	數量(擔)	價格(海關兩)
昭和六年	一、一〇八、九三九	八、八六九、四四八
同五年	一、三四〇、三二八	一〇、四三六、六三六
同四年	一、四三三、八六六	九、九九四、〇九五

即ち既述の如く最近は漸減を示してゐる然し乍ら、昭和四年は輸入に躍進的數字を示した年であるから、それ以前と比較する時は餘り減少を見てゐないわけである

五 滿洲に於ける砂糖消費量

前記の輸入額の中には大連を經由して山東方面に再輸出せられるもの約一萬擔を含んでゐるが、大勢から見て問題とするに足らず、又上揭各表に示す各年度內には國內に於ては生產されてゐないのであるから、結局右の數字は滿洲國內に於て消費される砂糖の數量を略ほ示してゐるものと見て差支なからう

六 輸入糖の種類

昭和六年の輸入糖を、その種類に依つて分けて見ると次表の如くなり、色相標本第十八號以上のもの最も多く、その大半を占めてゐる

品種別全滿砂糖輸入量(昭和六年度)

種類別	數量(擔)	價格(海關兩)
一色相標本第一一號以下のもの	一三、六八一	六七二、四九一
一色相標本第一一號以上第一八號以下のもの	二三八、〇四四	一、九〇三、八五五
一色相標本第一八號以上のもの	四六八、八六八	三、六四五、二六三
角砂糖及棒砂糖	三二、二二四	一六五、三三五
氷砂糖	三八、九四六	四〇五、九四九
精糖及白砂糖	一六一、四七五	一、九五八、六〇三
其他砂糖	三、三〇二	五三、〇〇七
糖蜜	一、一三五	六、四四七
赤砂糖	一、四六四	一一、一〇七
合計	一、一〇八、九三九	[illegible]

七 輸入地別に見た種類及仕出地

今更に上表を細分して、各輸入地に就て輸入さるゝ砂糖の種類、並にその發送地を見れば次表に示す如くである(數量擔、價格海關兩)

大連輸入砂糖種類及仕出地(昭和六年度)

品名	仕出地	數量	價格
色相標本第一一號以下のもの	日本	七、七一八	三三、三三六
	香港	四一、一四六	二三三、七九〇
	蘭領印度	五、七八九	二九、八五九
	支那各港	七	八
	合計	五一、六六〇	二九〇、〇一三
	日本	一三九、七八七	一、一〇〇、三二一
	朝鮮	一七、六五一	一二一、一二四

八八九 四四八

珠玉を碎く
禁無斷上映上演
吉井勇
(高根秀浩畫)

(二十一)

二つの手紙(七)

松本はしかし可なり長い間、それには返事を與へなかつた。かれは唯默つて自分の家と河上の家との關係を考へてゐた。

松本の父の英輔と、河上の父の克彦とは、互に同志の血に繋がれてゐる義理のある從兄弟だつた。が、二人の仲はさういつた緣戚關係よりも、むしろ親しい友達として、郷里の新潟にある時分から兄弟のやうにして生ひ立つて來た。明治維新の後間もない時代で、まだ到るところで血腥いうはさが聞こえてゐた。西南の役も征討の軍に荒らされた後で、何處の町にも疲弊の跡が見えてゐたが、しかし年少氣銳の人達の元氣はすさまじい程旺んだつた。西南の役が終つて、そろ／＼自由民權の聲が所々方々に、聞こえるやうになつた時には、二人はもう二十近くになつてゐたが、二人はその時分新潟に布教に來てゐた細川といふ若い宣教師から、さま／＼の新しい思想を吹き込まれた結果、到頭親達の許しも得ずに、東京を目がけて出奔をしてしまつたのであつた。「東京へ」といふ言葉は、その時代の靑年の合言葉だつた。と同時にまたそれは「自由へ」といふやうなことも意味してゐた。當時の靑年で政治に意を持たないものは、殆ど一人もないといつていゝ位だつた。二人も無論大臣宰相を夢みてゐた。

二人が東京へ出てからの苦勞は全く並大抵のことではなかつた。二人は幾度死なうとしたか知れなかつた。また幾度郷里へ歸らうと思つたか知れなかつた。がさういふ苦しい場合になると、大抵兩方から勵め合ひ、勵まし合つて、更に如何にかして學問を續けて行つた……。そして結局河上の父の克彦は、越後出の或る商人の世話で、實業の方に志すことになり、松本の父の英輔は、やつぱりその商人の傳手で、ある顯官の家に食客となるやうになつて、何時の間にか二人は歩く路を異にするやうになつて了つたが、しかし二人の交情は何時まで經つても變らなかつた。

かうして二つの異なつた路を歩いて行くうちに、河上の父は實業家として押しも押されもしないやうな地位を得てしまふし、松本の父も地方官などを勤めた揚句が宮內省に入つて、そこに牢乎たる自分の勢力を築いてしまつた。が、松本の父の方は、無事に五六年經つ離職をして、それから靜かな隠居日月を二三年送つてからこの世を去つたのだから、先づ幸福な半生を過ごしたといつてもいゝが、河上の父の方の晩年は、全く不幸から不幸への引き續きだつた。自分はある鐵工所の疑獄に引つかゝつて入獄する。妻は發狂して自殺をする。その上樣の思惑がすつかり外れて、身動きも出來ないやうな負債の淵に陷る。――といつたやうな有樣で、やつと三年の刑期を終へてこの世に出て來た時には頭髮に迷ふほどの哀れな境遇になつてゐたのだつた。しかももうこの時には、唯一の力になるべき友の松本英輔は、既にこの世にはゐなかつたのである。

河上一家――克彦とその二人の子は、それからどんなに苦しんだらう。が、克彦は出獄すると間もなく、獄中に得た病氣のために、その友の後を追ふてこの世を去つた。後に殘されて生きて行かなければならないのは、殘された二人の兄妹だつた。兄の哲太が工場に通つて得た僅の賃銀に依つて、からくも送らなければならない生活は以前よりもみじめなものだつたらう。

英一は暗然として考へ續けた。

TOKYO
TOKYO

松本英輔 河上克彦

日印通商問題の直接交渉可能となる

松平駐英大使より公電來る

（東京八日發國通）松平駐英大使よりの公電によれば、日印問題交渉中サイモン外相は印度政府は日印相互の關稅問題で日本と交渉の用意あることを英國政府に通じ來り、之を日本に取り次ぎ日本より交渉代表者派遣方を要請されたいとの事であつた、日本政府は商議の基礎となるべき提案を爲す用意ありと思惟する、印度政府もかかる提案を早き機會に審議したい意向であると述べたが、その後英印交渉により六日附で印度政府は直接交渉の權限を與へられたかくて日印直接交渉が開始されるに至つた

日印條約交渉に對する帝國政府の根本方針

（東京八日發國通）帝國政府は日印直接交渉に臨むに當り次の如き方針を執るものと觀られてゐる

一、日印通商善後交渉は印度商務長官と行ふもので帝國政府代表には三宅總領事を任命し必要に應じ更に本省より專門委員を增派すべし

一、現行日印通商條約は來る十月十六日以後廢棄さるべきを以て同日以後日印兩國が無條約國とならざるやう新條約を締結すべし

一、新條　は原則としてあくまで最惠國條款の存置を認めしめる事に努力し稅率も日印相互的に公正妥當なる程度に戻すべし

紡績聯合會が印棉不買を決議

日印貿易實質的斷絕

（大阪八日發國通）印度關稅引上げに關し紡績聯合會は午後一時より綿業會館に緊急委員會を開き、十二社代表協議の結果、八日より、印棉不買を申合せて左の決議をした

一、印度關稅特別委員會の提案を承認し、十二日棉業者聯合協議會を開き、印棉買入停止に關し提案をなす事

一、右聯合協議會に關する準備委員には現存の對策委員を委囑する事

一、本決議と委員會社の申合せ主旨を各社に電報すると共に、各社に於て右主旨を尊重する樣勸告する事

右の結果日印貿易の主要部分たる綿布輸出が杜絕され、印棉を不買し日印兩國の經濟斷交は斷絕狀態となる譯で重大視されてゐる

印棉不買は苦痛なし

米棉裾物支那朝鮮棉を代用　製品は蘭印、支那へ輸出

（東京八日發國通）紡績業者は印棉不買の對策として印棉の代りに米棉の裾物、支那棉朝鮮棉で補充するものと見られるが、我紡績界に下級棉より上級棉に轉向せんとする傾向あり、これを機會として紡績業の轉向が豫期され、昨年度は米棉安で印棉の三倍も輸入されて居り印棉不買はさして苦痛でなく一方綿製品の輸出地として印度市場に失つたところを支那や蘭領印度の市場で補へば今回の事件は一時的影響は免れぬが先行きは大した障害なく樂觀される模樣である

印棉不買決議を靜觀

外務當局の態度

（東京八日發國通）印度關稅に依る印棉不買決議に關し外務當局では、これを彈壓したり或は歡迎したりするが如き態度に出でず事態の推移を靜觀しその間善處せんとする意向である

通商交渉を應諾し來る

印度政廳より

（東京八日發國通）曩に英國が日印通商條約を廢棄して以來外務當局は日印間の如く經濟的に密接な關係にある兩國を無條約狀態に置くは好ましからざる事として以前から三宅カルカツタ總領事をして頻りに交渉開始を促さしめて居たが八日シムラ政廳より愈々日本との日印通商條約再締結交渉に應諾する用意ある旨回答し來り、日印間の本格的交渉が開始される段取りとなつた

關稅引上げに關する

時事新報の論說

（東京八日發國通）時事新報は印度政府の關稅引上げに關し、左の論說を揭げて居る

綿布關稅引上げは沒落過程にある英國產業保護の意圖に出て居る事明白だが、斯くの如き英國側の日本產業への挑戰は目論見通りの打擊を我產業に與へないのみならず、結局英國自身の爲に不利益を招く外、尙英國が日本品排擊に沒頭しつつあるに乘じ印度國內では旣に英本國のマンチエスター貿易に對抗する同種產業が勃興して居る事實はその一例である、良き品を安く製產し得るものが結局最後の勝利なる現代の經濟方式に於て日本は決して悲觀する必要はない

印棉不買に關し商工當局語る

（東京八日發國通）印棉不買決議に關する商工當局の談

印棉不買決議は當業者が、これを痛感してやる以上當局として決して止むべきでない、昭和七年の數字に依れば、我國の棉花輸入國別は七〇％まで米棉で、印棉は二三％、五％がエジプト棉であつて、英政府が誠意を示さず徒らに日本棉を排斥するのなら印棉不買と共に、濠洲羊毛の不買も又止むを得ない

在華紡合流せん

（東京八日發國通）印棉不買に關し在華紡績の態度は最も注目されて居るが、結局合流するものと觀られて居る

印棉不買決議に輸入棉花商も應援

（東京八日發國通）印棉不買決議に對し輸入棉花商もこれに應援して決意貫徹に努力すると意を固めてゐる

北鐵讓渡問題本格的に進捗

具体的交渉方針決定のため大橋外交次長歸任

日本政府斡旋のもとに滿蘇兩國間の北滿鐵道讓渡交渉は去る三日の蘇聯政府の日本政府に對する回答によつて旣成的段階に入り、來る廿五日東京に於て交渉開始の本格的段取りまで進捗するに至つたこれがため滿洲國政府は具体的交渉方針を速かに決定する要あり、過般來東京に在つて日本外務當局と本問題につき種々非公式打合せの衝に當つてゐた大橋外交次長は右緊急要務を帶び、東京から釜山まで飛行機で一飛に飛び、釜山からは雨のため飛行機を斷念し特急列車で奉天乘換へ、本日午後七時五十分新京に歸任明日から直ちに關係各部主腦會議を開いて、北鐵價格の査定、その他交渉の基本となる可き具体案を練り上げ、廿五日迄には東京に再赴するといふ大橋外交次長得意の大車輪的活動が展開される譯である氏を車中に訪へば北鐵讓渡問題？當事者は口を緘すべきだよ、問題の過程途上に於ては未、何日また東京に行くかつて？それも言へないよ、何もかも今は發言の時期ではないと問題がデリケートであるだけに緘口令を布かれた人の如く文字通り緘默の一手で記者と應酬し（日本から戾ると滿洲は廣々として氣持がいいね…）と車窓の曠野を指しながらお茶をにごして了つた

四國協定案假調印を終る

（ローマ七日發國通）歐洲の平和を確保すべき英、佛、獨伊四國協定案は七日午後七時三十分ローマで假調印を了した

有吉公使羅文幹、汪精衛を訪問

（南京九日發國通）有吉公使は八日午後十一時羅文幹を訪問、午後三時汪精衛を訪れた羅外交部長は眼病激しく會談數語で辭去、汪は十分に亙つて會談した

北平軍政當局の要求で各大學暑中休暇を繰上ぐ

（北平八日發國通）北平の軍政當局は今回の停戰協定に學生が反對することを恐れ、各大學に暑中休暇の繰上げ方を要求中であつたが各大學では命令通り例年より早く來る十二日より暑中休暇と決定、休暇前に行ふ學期試驗も休暇後に行ふ事となつた

停戰交渉成立で北支漸く落着の色

十九路軍も北上を中止引揚げ

（奉天八日發國通）某方面の情報に依れば廣東方面では北支に於ける日支停戰交渉成立以來武力抗日にあき氣味の一般民衆は漸く落着きの色を見せ一方湖南方面に進出せる十九路軍抗日隊も本月五日通電を發して北上を中止し廣東に引き揚げたと

宣化附近で馮方軍大衝突

北平再び動搖の兆

（北平九日發國通）支那紙の報ずる所に依れば多倫より進擊して沽源を占領した劉桂堂軍は一昨七日寶昌、泰保を攻略し、目下張家口に向け猛進中で旣に北平、張家口の通信は不通となつたと、尙別報に依れば馮占海軍と方振武軍は宣化附近の沙嶺子で大衝突を起し兩軍激戰であるが、通信杜絕の爲狀況詳細判明しないが日支停戰協定で一息の形であつた北平軍事當局は張北のこの形勢に一昨夜首腦部會議を開いて對策を協議したが同方面の形勢惡化に又復北平附近は動搖の兆を呈して來た

北平各界抗日會例會

七日開催

（北平八日發國通）北平各界抗日會第百十回例會は昨日開かれ左の二件を決議した

一、北平各界對貨提唱運動委員會は暫く事務を休み、書類は市商會で保管せしむる

二、本抗日會の工作は政府及黨部より何等の命令がない

妙齡の娘が二、三十元で賣らる

北平避難民困窮其極に達す

（北平八日發國通）目下平津に入り込んでゐる避難民の數は、天津（四萬六千）北平（二萬三千）と稱されてゐるが、此の避難民に對する救濟は、天津では于學忠の手で幾分なりとも行はれてゐるが、北平では避難民どころか自分達の身に危險を感じて居つた、當局は何等の救濟法も講じてゐないので、昨今では、之等避難民は食ふに困つて子女を賣り、生活するもの續出し美しい田舍娘が二十元、三十元で賣買されてゐる、公安局では人道上の問題として禁止令を出したが、何がさて娘を賣るより他に食ふ道のない百姓連中だ、そんな表面の禁止令位では到底止出來ず、都大路に子を賣り廻る悲慘な姿は在中外人に一入哀れを催させてゐる

陳友仁氏極秘裡に秩父丸で赴日

（東京八日發國通）上海香港方面よりの支那側消息によれば、西南政務委員會委員陳友仁は七日午前極秘裡に秩父丸に乘船日本に向つたが、陳の赴日は非常に注目されてゐる

北寧線天津唐山間試運轉開始

（天津八日發國通）北寧鐵路局に於ては本日午前十一時天津唐山間の試運轉を行つたが盧臺以東唐山間まで開通せりや否やについては未だ確報がない

米紙の正論（七）

日本の言ひ分も聞け

獨力邁往日本の冒險

ニューヨークタイムス所載　千九百三十三年三月五日

支那に於ける輸入は政治的門戶開放問題を惹起するを常とす、日本は滿洲に於ける其競爭者及反對者に對して門戶を閉鎖するや否や、滿洲國外交部次長大橋忠一は最近語りて曰く（若し聯盟及其他の列國にして滿洲國を承認することなく日本及滿洲國に對して（ボイコツト）せんか、日本は之等列國に對して滿洲の門戶を閉鎖せざるを得ざるべし）と

開發計畫

現狀に於て將來を豫言することは不可能に屬するも若し滿洲國にして機械工業化したる曉に於ては日本の鐵及石炭の資源は之を滿洲產出のものとを合算するも尙不充分なるを免れざるべし

然るに日本が秘かに斯る開發計畫を抱きある事は明かなり、例へば今や數條の鐵道敷設計畫進捗中にして其最も重要なる線は滿洲國首府新京と朝鮮沿岸の一新港灣とを連結する數哩の一直線とす

日本人顧問は滿洲國財政の建て直しに大いに盡力したり其財政整理に方りては特に國民の負擔を輕減することに留意せり、蓋し新政權が僅か誠民一般の人氣を博して生存せんが爲め政治的に必要なればなり

滿洲の豫算は千九百三十年度に在りては一億四千四百萬元（七千四百八十八萬弗）なりしが、千九百三十三年度に在りては一億一千三百萬元（五千八百七十六萬弗）に縮少せり其軍費も九千八百萬元より三千三百萬元に減じたり但前記の數字は勿論各省の經費を含まざるものとす

滿洲國中央銀行創立せられ同銀行は通貨の安定を計るため一定の標準價格に依り從前の各種通貨を其發行兌換券を以て買ひ上げつゝあり、恐らく之に依りて滿洲農民が其產特に大豆の賣却に苦しみたる通貨問題を片付け得べしと豫想せらる

犧牲

日本の滿洲發展には勿論相當の犧牲を要したり、民間の投資家も、政府も共に新國家の發達に莫大なる資本を投じたるのみならず日本の陸海軍の維持費は著しく增加せり之等の經費支出の結果と國價の暴落とに依り日本は豫期せざる經濟界の低景氣に遭遇せしが之がため却て政府の政策は一般的支持を受け國民は日本の繁榮は滿洲に求め得べしと信ずるに至れり、若し現下の低景氣にして繼續せんか國民の政府支持益々鞏固となるべしと雖も、若し之に反せんか重大なる國內政局の變化を惹起せん（完）

德川貴族院議長辭表を提出す

後任は近衛副議長昇格か

（東京八日發國通）貴族院議長德川家達公は本年度で勤續三十年に達するので之を機會に後進の途を開く爲、國論辭職する事に決定八日朝近衛副議長の許へ辭表を提出、さらに十時十分齋藤首相を訪問諒解を求めた、齋藤首相は事情を諒とし之を承認する事となり、辭表は宮內省より奉呈內閣へ御下渡しを待ち齋藤首相より九日參內　陛下に拜謁仰付けられ、御裁可を仰ぎ即日左の如く發令されるであろう

貴族院議長公爵　德川家達　依願免貴族院議長

尙老公は余生を公共事業に盡す筈後任には、近衛公が昇格、副議長は伯爵議員松平賴壽伯の勅任を見る筈である

後任は近衛文麿公

（東京八日發國通）八日午後一時二十分齋藤首相は近衛文麿公を官邸に招き議長後任問題に就き內交渉の結果、承諾を得たので、九日午前十一時宮中に參內、官記傳達式が行はれる筈である

華北戰區接收近く成案を見ん

（南京八日發國通）內政部では目下華北戰區接收に伴ふ特殊警察の編成に就いて協議を重ねると共に、河北省政府並びに北平軍事分會に打電して意見を徵しつゝあり。

その日く

□

英米市場における我が公社債・昂騰の一路を辿る、我が經濟的基礎の鞏固なると經濟的壓迫が不可能なるを確認したるによると、一押し、二押し三も押しでなくちや

□

印棉關稅引上げに關し、紡績聯合會が印棉の不買を決議、瓦器禁輸案と同じく國內新業の發達を助成せしむるの外何ものでもなし、やりたいやうにやるさ

□

今夏每月一日を定めて清潔デーとなし傳染病の豫防に努めんとす、各自、各時に清潔を旨とせば絕滅を期する易々たり

□

北平ではクーニャンが二、三十元で街から街へ賣出しに出てゐる由、慾も目のないそこいらの連中、一つ買出しに出ては！

人事往來

▲多田少將（軍政部最高顧問）八日午後七時五十分歸京
▲大橋外交部次長　同上
▲坂野大佐　同上
▲樋口局長（恩給局）同上
▲柳井勇藏氏（中隆銀行取締役）同上
▲裴森氏（護國軍第三軍司令部參謀長）同上
▲李文龍氏（吉林警備第四旅第十一團長）八日午後四時來京
▲鈴木中佐（鐵道第〇〇隊）八日午後七時五十分來京
▲刑士廉氏（吉林地區警備司令）八日午後三時二十五分歸京
▲對馬少佐（間島憲兵隊長）八日午後四時三十分奉天へ
▲川人大尉（關東軍憲兵隊司令部）同上
▲王允卿氏（吉林省高等檢察廳長）八日同上
▲中岡少佐（步兵第〇〇〇隊）同上
▲青木信一氏（新京國道事務所長）九日午前八時歸京
▲山內中將（豫備役滿洲電信電話會社設立委員長）同上
▲村上理事　同上

團体

▲栃木縣教育視察團十三名九日午前九時五十分公主嶺へ
▲東京府立第一商業生七十四名九日午後三時二十五分來京
▲大阪貿易館主催團二十九名九日午前八時四十分ハルビンへ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊　一九片四分一
同　遠期　一九片一六分五
紐育銀塊　三六仙四分一
孟買銀塊　[illegible]
米英爲替　[illegible]
米日爲替　[illegible]
米支爲替　[illegible]
スチール株　[illegible]
アナゴンダ株　[illegible]

▲綿花

米棉：現物、七月限、九月限、十一月限、一月限、三月限、五月限　[illegible]

印棉：ブローチ、ベンゴール、オームラ　[illegible]

▲上海標金　昨止　高値　[illegible]

▲上海日本向　安値　寄付　歩値　[illegible]

▲上海倫敦向　第一回　第二回　第三回　[illegible]

▲上海紐育向　賣値　買値　[illegible]

▲大連金鈔票　現物　近付　寄値　歩値　[illegible]

▲大連上海向　引止　高値　安値　出來高　[illegible]

▲大連天台向　[illegible]

▲大阪三品　當限　七月限　八月限　九月限　十月限　十一月限　先限　[illegible]

▲大阪棉花　當限　先限　[illegible]

▲大阪期米　當限　中限　先限　[illegible]

▲仁川期米　當限　中限　先限　[illegible]

▲橫濱生糸　現物　當限　先限　[illegible]

▲大連特產
●大豆　現物　六月限　七月限　八月限　九月限　十月限　[illegible]
●豆粕　現物　六月限　七月限　八月限　九月限　十月限　[illegible]

新京市況

大豆　現物　出來高　[illegible]
高粱　出來高　[illegible]
小豆　出來高　[illegible]
▲錢鈔（現物）　鈔票對金票　大洋對金票　國幣對金票　洋鈔票　[illegible]

待望のボーナス　そろ／＼渡り出す
滿鐵の三十五割を筆頭に　いづれもホクホク

サラリーマン待望の的！、ボーナス月、六月が來た、晝食の時間或は

＝小閑＝を盗んではサラリーマンの話題に花を咲かせるボーナス、六月と十二月の二回サラリーマンを腰辨洋服細民より救ひ、ちよつとばかり大舂氣分を味あはせるボーナス、その輕重は直にサラリーマンを朗にしたり、憂鬱にしたり偉大なる力を持つてゐる、しかしサラリーマンよ哀べ、何んさいふ

＝福音＝だらう滿洲景氣にはね上つた各會社の會計帳簿は一齊に社員のボーナス袋を重くする、このさころサラリーマンの天下だ、飲へ、舞へ、滿洲景氣と共に、そしてこのボーナスは洋服屋へ、靴屋へ、市中一般商人へ、料理屋へ、更に證文を皮鞄に一ぱい詰込んだ高利貸へ走り、丸髷姿の奥さんルーヂユの濃いウルトラマダムの

＝買物＝さなるのだ算盤彈く間に、社への途に夢に見るサラリーマン！、そのボーナスを裏口から虎視耽々これを狙ふ市中商人！ア、ボーナスよサラリーマンの視聽を蒐める時代の寵兒ボーナス袋の輕重を探らう

＝滿鐵＝四萬社員が三割減斷行の宣告に血涙をのんだのも昔話だ、今回の一割五分增で丁度三割減は消滅、最高三十五割、最低十五割のボーナスは二、五、六日中に社員の手に渡らう

＝國際運輸＝滿洲國內の治安確保に伴ふ經濟機構完備の進 に從ひ業績頓に好轉、今期は該銷却金を控除するも八分配當をなし得る見込で、前期より幾分增額して一ケ月半乃至二ケ月は動かぬさころ、六月中旬支給される

＝三井物産＝會社の王座を占める物産は滿洲景氣により多少の增加を見る模様である、この賞與は他の會社と異り普通賞與は五月に特別賞與は八月にと、半期に二回支給され、普通賞與は大体二ケ月特別賞與は人により異るが略一ケ月半合計三ケ月半となる

＝滿電＝滿鐵傍系會社のピカ一であることは總て滿鐵と同樣從て最高三十五割最低十五割見當

＝滿洲瓦斯＝從來あまり芳しい業績を殘さなかつた同社は滿洲景氣に頗る好轉を見てゐるが大体滿鐵と同樣

＝正金銀行＝本支店を通じ非常に惠まれた給與であるが賞與は三月と九月これは大体本俸の三ケ月分乃至六ケ月分六月、十二月は手當として本俸の十割、何んとしても當地のボーナスの王座を占めてゐる

＝鮮銀＝特別賞與が附くので非常に複雜であり、又ボーナスの差も甚しいが二十割から五十割といふさころ

＝正隆銀行＝最低十六、七割から四十割程度で前年と變りがない

＝滿洲銀行＝最低十割から最高三十割と見られてゐる

新京實業銀行　本年は少し奮發して本俸の三十割の賞與は二十日頃社員の手に渡るものと見られてゐる

＝本拓＝年二回六月十二月支給の外に會社自体の業績により臨時賞與が出る、從てこの六月の賞與は平常と變りなく二ケ月さいふさころ

＝輸入組合＝滿鐵の監督下にあるので大体滿鐵の賞與と同額であるが理事の裁斷に一任されてゐる、目下久末理事旅行中で判らぬさある

軍部や滿洲國は　ボーナスがない
だつて非常時だもの

＝軍部＝非常時にボーナスも糞もあるものかさいふ形ここにも賞與はない

中央銀行　出るか、出ないか今のさころ判明せぬがないかが本當らしい、出ても一ケ月分位のボーナスだらう

ボーナスの出るさころばかりを上げたから今度は出ないのを書いて賞與を貰へない人へのせめてもの慰めさしやう

滿洲國政府　時局多端の折且つ建國以來日尚淺い爲、より一層國礎の鞏固を加へるべく、本年は賞與なし

經王寺のお稻荷さん　夢・枕・に・立・つ
祠が狹いとの御告げ

新京曙町日蓮宗經王寺の境內に在る伏見稻荷大明神は近く立派な祠が出來ることになつた、元此お稻荷さんは今の記念館裏の片隅、その昔東公園が在つた大正の初め頃伏見から

＝勸請＝したもので其頃は長春が豆の都を謳はれ景氣がよかつたので小さくはあつたが祠が出來赤い鳥居が立ちならび朝夕意氣な島田やいてふがへしの姿が無理な願ひに通ふものもあつたがその後世の中は不景氣となりお稻荷さんの祠も風雨に曝られ顧みるものもなくなり供物さへも無くなつたので或時附近の者の夢枕に立つたお稻荷さんが供物もなく空腹であると訴へられたが不況時代のことで神樣より先づ自分達の糊口の方が肝腎なので其ままになつてゐると聞いた經王寺の住職が檀家やお稻荷さんの信者と相談の上現在の處へ祠を移したのであつた爾來お詣りにも道順はよし鳥居の數も殖へて來たが最近又信者の夢枕に立たれたお稻荷さんが寺のうしろ住居は窮窟だも少し何とかしてくれぬかとのお告げ、それを傳へ聞いた信者は神慮を畏み早速相談した結果は東一條通りに面

＝反映＝して豫定の額は忽ち集まり、更に是非この志だけを受けて欲しいさいふ金が奉納されして二千余圓も寄つたのでお籠り堂を建て增すことになつたさうである

した經王寺境內の一角に新らしく祠を建てて神慮に叶ふやうにすると一決、地方官廳の認可出來る範圍で新築資金の募集を始めたところがさすがに新京となつた今日の景氣はすばらしくこんな寄附金方面にまで

察哈爾主席に　孫殿英を任命

〔天津九日發國通〕宋哲元は前線出動と共に察哈爾主席辭任を申請して居たが、中央は今回宋の辭任を許し孫殿英を任命するに決した

滿洲年鑑を　除隊兵に贈る

關東軍では岡村參謀副長の發意によつて在滿各部隊の除隊兵に最近內地へ歸還する機會を利用して滿洲文化協會編纂の滿洲年鑑一萬五千册を奉天驛通過隊に寄贈して鄕人の滿洲に對する關心を深める事となり昨八日騎兵部隊の除隊兵が奉天驛通過の際これを實施したが、今後もなほ引續き實施の筈である

新賓附近で　野坂部隊匪賊を潰滅
此內軍曹の壯烈な戰死

〔奉天八日發國通〕過般來新賓一帶の治安維持に不休の活動を續けてゐた本溪湖獨立守備隊野坂〇隊は山城鎭方面に向ふ途中七日午前七時三十分頃新賓縣永陵街（營盤東南十五里）を去る一里半の地點に差掛つた際突如前方高地より占東洋、石虎の合流匪四百名に遭遇したが、此時第一線に立つて、全軍を叱咤して居た此內軍曹は敢然部下の所持せる手榴彈數個を取り只一人馬に鞭打つて敵の陣中目がけ向つて突進した、二十米十米陣地間近に迫り一つ、二つ、三つと矢繼早に敵陣中に投込んだ、最後の一彈を投げんとするや省に敵彈は同軍曹の胸に命中した、敵は一部を右高地に一部を以て左高地上に在る石造の廟に據り、一齊に猛射を浴せかけた、野坂〇隊は直ちに散開、之に應戰したが同匪は左右の小高地を除き一望千里の畑原で一本の掩蔽物もなく加ふるに敵は有利な然も堅固な陣地に據つて頑強に抵抗激戰數時間に亘つたが敵は何等の怯む色を見せざるのみか益々猛烈な十字火を浴せた此內軍曹の死を目の邊りに見せつけられた我軍は勇氣百倍喊聲を擧げて敵陣地に突入逃惑ふ敵を或は刺殺し或は長銃で撲殺諸に敵の大半を殺害此の突擊に敵は四分五裂さなり午後二時西方に向け潰走した本戰闘における我軍損害は

戰死　下士官　五名
兵　二名
負傷　山崎四郎　以下四名
戰死者氏名住所左の如し
戰死者
石川縣鹿島村若林
騎兵軍曹　此內　良平

淡谷のり子孃　花柳壽滿師
中野忠晴氏　和田肇氏

便所の汲取口から　一夜に二件强盜
大金を强奪の上逃走

八日午後九時ごろ市內曙町二丁目二十二番地特產商陳礎臣氏方の便所の汲取口から强盜三名が押入り

＝奧室＝で談話中の夫婦、雇老婆三名を隱し持つた麻繩で縛上げ「騷ぐさ殺すぞ金を出せ」と脅迫し震へる陳が金は無いと云ふや賊はステツキで被害者の頭部を毆打した末ふさんをかぶせ奧室の簞笥から金指輪二十二個、金腕輪五組、首飾八個、耳環六個、時計一個時價千三百圓余、現金百五十圓を强奪し悠々さ表口から逃走した午前一時ごろ新京署に屆出たので同署では直に署員の非常召集をなし倉田司法主任指揮の下に現場にかけつけんさするや、續いて午前一時五十分ごろ、またまた三笠町四丁目九番地文具商李世傑氏方へ

＝前記＝同樣の强盜四名內三名が拳銃を所持し便所中にふさんを入れ汲取口から押入り奧室で就寢中の店員七名をたたき起し拳銃を突きつけ凄文句で「騷ぐさこれださ」拳銃を見せかけ店の間にあつた簞笥から現大洋九百五十圓、帳場の机から十圓、衣類數点を强奪し裏口から逃走した、係員急行臨視の結果兩家を襲つた犯人は同一で且つ內部の實情に通じたものであることを認めたが逮捕するにいたらなかつた、便所內にあつたふさんの

＝並に＝麻繩を唯一の手懸さして搜査を續けてゐる

初夏の宵にふさはしい　舞踊の夕べ
流行の小唄と　淡谷のり子さん始め　流行の三寵兒出演

日本國の津々浦々から滿洲の涯まで誰知らぬものもない「わたしこの頃憂鬱よ」など、甘い聲でジヤズソングをコロンビアレコードに吹きこみ流行小唄で今賣出しの淡谷のり子さんバリトン歌手で「日本國民歌」を吹込んだ中野忠晴氏ヴアイオリニストの和田肇氏それにグツさ變つた日本舞踊花柳三羽烏の一人花柳壽滿さんを加へた四名の一行が

＝大連＝の公演を終つて沿線の皇軍慰問に來るを迎へ新京蓄友會後援本社主催で來る十二十三の兩夜長春座で「流行小唄さ舞踊の夕」を催すことになりました從來斯うした一行が入場料がどうしても大人一圓よりも高むそれは一行の宿泊料その他の雜費が嵩むやうしてもやむを得ないことなつてゐますが本社は讀者優待のため普通料金二圓のところを五十錢割引せしめ一圓五十錢均一と云ふことで承諾せしめました本社の微衷のあるところを汲まれこの一行が

＝折角＝遙々やつて來るのですから大に歡迎して「あたし今度は憂鬱よ」なさと歎かせぬやうにしたいと思ひますそのプログラムは左の通り

第一部

▲テノール獨唱イ、私の太陽よ（日本語）ロ、月の出（西語）ハ、愛のささやき（日本語）中野忠晴ピアノ伴奏和田肇

▲新舞踊「大連シヤンソン」花柳壽滿

▲ソプラノ獨唱「二人の戀へ」なつかしきカロライナ」ノルル・ブルース」淡谷のり子ピアノ伴奏和田肇

第二部

▲テノール獨唱「旅がらす」古賀政男曲「山の讃歌」佐藤吉五郎曲「サーカスの歌」古賀政男曲中野忠晴、ピアノ伴奏、和田肇

▲ソプラノ獨唱「ビルの雨」佐々紅華曲「さらば上海」古賀政男曲「十九の春」江口夜詩曲「ほんさにさうなら」古賀政男曲、淡谷のり子、オーケストラ伴奏ハバナ、タンゴ、バンド

▲舞踊「保名狂亂」花柳壽滿

第三部

▲テノール獨唱「大連行進曲」古關裕而曲、中野忠晴オーケストラ伴奏、ハバナ、タンゴ、バンド

▲ソプラノ獨唱「高原の唄」古賀政男曲「歡喜の唄」同「五色旗の下に」古關裕而曲「論蒙シヤンソン」佐々紅華曲淡谷のり子、ピアノ伴奏和田肇

▲混聲二部合唱「アリランの唄」「丘を越えて」古賀政男曲「日本國民歌」山田耕作曲中野忠晴、淡谷のり子、オーケストラ伴奏、ハバナ、タンゴ、バンド

▲新舞踊「浮草の唄」花柳壽滿

濱松爆發續報
陸軍省から公表す

〔東京八日發國通〕濱松飛行第七聯隊火藥庫爆發に關し陸軍省は本日左の如く發表した

輕傷將校一名、下士官二名兵八名、職工一名、人夫二名重傷、兵一名、人夫一名、他に三等火工長、人夫一名生死不明

建物の損害は彈藥破裂により破壞されしもの八棟にして內大棟は或は屋根四散し、又は鐵の扉が吹飛ばされた程度なり、他に當日運搬されたる爆彈を收容しありし天幕及び輕油燃燒、又重爆擊機二臺八八式輕爆擊機一臺（何れも舊式）破壞せられ、又聯隊の建物若干及び窓ガラス破損す

〔濱松八日發國通〕午前十一時卅分大型爆彈一個炸裂、增野聯隊長は廿名の決死隊を率ゐ黑煙中を突進、大型爆彈四個を拾つて大八車で引揚げた爆發原因は自然發火說が有力だが引火說もある

〔濱松八日發國通〕既報濱松

火藥庫も　危險に瀕す

〔濱松八日發國通〕既報濱松の爆發事件は尙延燒中で、午後六時迄は鎭火の見込み立たず燒跡の慘狀は關東大震災を想はせる、延燒中の輕油庫北側の火藥庫には爆彈が多數未だ殘つて居り、何時爆發するか知れぬので寄付けず、人心恟々さして居る

飛行場爆發事件の損害額は五百萬圓を傳へられるが確實でない、爆發爆彈は七千噸、燒却ガソリン五千罐と言はる

秋田縣仙北郡生見村（樽見內）
歩兵軍曹　宮川　勇助
新潟縣南蒲原郡鹿峠村新來
歩兵軍曹　木村　悅
靜岡縣駿東郡北鄕村上野
歩兵軍曹　勝見　吾一

同　所
歩兵伍長　高橋　修
群馬縣志太郡葉梨村（西方）
歩兵一等兵　鈴木　新一
群馬縣志太郡白畑村水守
歩兵一等兵　岡田　榮作

滿洲へ滿洲へ　若い男女の家出激增
五月中の搜査願百廿九名

〔大連八日發國通〕帰けゆく滿洲國の魅力と青葉の誘惑に打負かされ、滿洲へ滿洲へさ無斷家出する若い男女は茲一二ケ月俄に增加し五月中大連署に提出された搜査願は男十六名女六十三名計百二十九名の多數に上つてゐる、殊に最近の特殊な傾向は若い婦人の家出人が增加した事で、男と略同數になつた事は空前の事であり如何に新聞雜誌の傳へる滿蒙が若い女の心を捕えるかが判る、此他所在地不明になつた在鄕軍人の搜査願が十五件あつた

新京家事講習所
近く盛大に展覽會を開催

最近新しく發展好成績を舉げてゐる新京家事講習所では來る六月二十二、三の兩日を期し午前九時より露月町一丁目の同講習所に於て和服、洋服生花各科講習生七十名の作品展覽會を開催すべく、目下地方事務所社會係並に同講習所ではそれぞれ計畫準備中である

同日はバザーを兼ね、和服小供服、手藝品、浴衣、造花、人形生花等即賣をなすが一般觀覽人のため食堂も設備、簡單な食事、飲物の用意も行ふ豫定である、同展は毎年一回開催されるが、本年は特に新京の發展に伴ひ、講習所生も激增することとて、新京婦人界の一大行事さして刮目期待されてゐる

灤東戰の勇士　晴の凱旋

〔大連八日發國通〕〇〇隊凱旋兵〇〇〇名は灤東地區の支那軍膺懲戰に多大の偉勳を殘して原隊歸還の途に就いたが八日午後零時三十五分大連に到着した、驛には市民、學生多數出迎へて勞を犒らひ、萬歲の聲は驛を壓した

ラジオ

十日（土）新京

奉天後四、〇〇　レコード
錢行　金銀相場商業通信社
新京後四、三〇　演藝
新京後五、〇〇　講演　國際流通狀況に就て　中央銀行理事　劉　燏棻
新京後五、三〇　ニユース（滿洲語）
東京後六、〇〇　ニユース
東京中央放送局編輯
東京後六、三〇　演藝又は講演
新京後七、〇〇　ニユース（英語）
新京後七、一〇　ニユース（露西亞語）
新京後七、二〇　ニユース（朝鮮語）
新京後七、三〇　ニユース　氣象豫報、放送局編輯及プロクラム豫告
新京後八、〇〇　演藝
東京後八、三〇　時報
東京後八、三一　ニユース
東京中央放送局編輯

けふの銀銀場

鈔票　金票	[illegible]
大洋　金票	九九・九〇
國幣　金票	九九・七〇
大洋　鈔票	[illegible]

幕末異聞

愛慾火箭

（七十九）

作　瀧川駿
畫　村瀬洗舟
（蒲上演上映）

桑名の夜船（六）

『ほう、おめえさんか』
靜かな口調で、斯う聞いたやうに瞳を放つた男がゐた。
『うむ、音樂まぶれの身體ぢや、龍神樣のお氣にも召すまいが、このお女中を見殺しにして、おいら生きて居る譯には行かねえんだ。どうせ昨日命のねえ體だつたんだから……』
死を覺悟してゐるのか、暴れ狂ふ怒濤の中で、帆綱に掴まつて平氣で立つてゐる。
『おゝお前さん！』
お君は縛られた身體で、目を見開いて斯う叫んだ。
『姐さん。おいらを殺してお呉んねえ、おいら何氣なく廊に出て見れば、この體だ。そして廊の中でちらりと聞いたこの譯ぎ。――ね、姐さんおいらは疾つくにねえ命が、今日が日まであるのが不思議なくれえなんだ。といふのは、やくざに落ちて七年この方、惡い事といふ事は仕盡して、島送りも二度三度、いづれは六尺高い木の空でお晒しになるものと覺悟を決めてゐやしたが、船の衆八十人の身替りになつて死にやあ、惡黨の最期にしちや上出來だ。どうかおいらに死に花を咲かしてやつてお呉んなさい』
『あ、有難う。恩を着るやうだが――譯を言ふよ』
『なあに、その譯にや及ばねえ。譯を言ふのはおいらの方だ、まだ若い綺麗な姐さんが死を急ぐにや當らねえ――さあやつてお呉んなせい』
猿の吉次は、船頭達を見上げて腕を後へ廻した。
泣いてゐる。みんなこの美しい心根に泣かされてゐるのだ。
『お前さん、何かこの世に言ひ殘す事はないかえ？親分が生命に掛けて頼まれて上げやう』
『うん――[illegible]に遺言なんて氣の利いたものは御座んせんが、おいらの生れは武州飯能、そこには、やくざに落ちて七年この方、音信一つしねえ、お袋がたつた一人淋しく暮してゐるんで御座んす。たゞ一目他目ながらでも會つて死にたかつたが、今となつては、それもならねえ――でお袋に、吉次の野郎は八十人の身替りになつて、桑名の海へ飛込んで死んだと言傳てお呉んなさい。それから、話がしんみりするやうだが、おいらには生れながらに父親がねえんで御座んす。お袋の話ぢや、この世の中に生きて居なさるとの話、實はその父親に一目會つて見たさに旅に出たのが、やくざの始まり……』
秋の夕暮、武州飯能の百姓吉左衛門の門口に佇んだ一人の巡禮の女があつた。見れば可哀想に身重である。その女が俄に陣痛を覺えて、吉左衛門の門口に倒れ込んでしまつた。その翌日吉左衛門の屋敷で生れたのが、この吉次だつた。吉左衛門の一字を貰つて吉次と名附け、吉左衛門の情で一軒別家を建て貰つて、お袋が近所隣の日雇ひに雇まれて、その日の生計をたてゝゐたのだつた。
『お袋の話ぢや、つい旅先の宿で知り合つて一夜契つたばかりで、父親の名前も身分も聞かなかつたが、これが證據だからお父さんに遭つて來いと言ふんで御座んす』
吉次は長い身の上話をして、錦の袋に這入つた佛像と、[illegible]書を差し出した。
『あゝさうかい、世の中には似たやうな話もあるものだね』
お君は我が身につまされて、思はず涙を拭つた。
『早くしねえ』
船頭衆は、待ちかねてゐた。
『さあ、やつてお呉んねえ』
船頭は左右から、吉次の身體に手をかけた。
『吉次さんとやら、お前さんに代つて妾が、お父さんに逢つて上げるよ』

六月十日　五月十八日　土曜　丁未　佛滅　除　女宿

●一白の人　人事に努して功果の舉らざる日縁談尤も凶　辰と辛と戌が吉
●二黑の人　他言に迷はされず一路常業に直進すべき日　丁と癸と寅が吉
●三碧の人　意の如くならざる日金銭契約殊に凶なる日　乙と庚と壬が吉
●四綠の人　熱心込めし事も中途に故障の生ずる注意日　乙と辰と巳が吉
●五黃の人　平和に見へても運氣は常よりも進まざる日　壬と子と癸が吉
●六白の人　誠意の限りを盡せば何事も通達すべき吉日　丙と丁と未が吉
●七赤の人　小故はあり乍も本業は順調に行くべき日　丙と未と寅が吉
●八白の人　平凡の中に自然の幸福の伏在する吉日なり　甲と壬と丑が吉
●九紫の人　何事も測んで吉新規企業は尤も可なるの日　乙と亥と寅が吉

南滿鐵路
大連　周水子　金州　普蘭店　瓦房店　熊岳城　蓋平　大石橋　海城　湯崗子　鞍山　遼陽　蘇家屯　奉天到　奉天開　鐵嶺　開原　昌圖　四平街　公主嶺　范家屯　長春到
長春開　范家屯　公主嶺　四平街　昌圖　開原　鐵嶺　奉天到　奉天開　蘇家屯　遼陽　鞍山　湯崗子　海城　大石橋　蓋平　熊岳城　瓦房店　普蘭店　金州　周水子　大連到

新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社

對英關稅戰の火蓋遂に切られん
七日早々から報復的關稅で わが方對策成る

(東京九日發國通) 外務省關係當局は商工省、大藏省と共に對英帝國との通商關係の根本的打開策を考究中だつたが、今回愈々英帝國全般に對し我國として異例に屬する報復關稅を施行する事に大体意見一致し、關係事務當局は急遽立案作成に着手し、從來の自重の態度を一變して對英關稅戰の火蓋を切る事となつた、即ち現在三省當局で立案考究中の對英報復關稅案は今月中に事務當局の立案を終り、直ちに樞府に御諮詢奏請の手續きを執り、遲くも七月早々に右關稅案を施行公布する段取となつてゐる、而して目下考慮中の品目は一、英本國諸機械類二、印度棉花銑鐵三、埃及棉花四、濠洲羊毛、小麥五、カナダ木材、小麥である、尙報復關稅率の率稅は案の目的上精製品及原料品を通じて一率に禁止的高率を附加するものと見られてゐる

大政黨よ、一体何處へ?
政友の分裂 正に危機一髮
抗爭ますく險惡化

(東京九日發國通) 政府筋では政友會内紛の問題に大体見透しを附け落着いてゐるが政友會内部では依然急進、自重兩派の對立抗爭は收まらず八日も

「自重」派は三緣亭に、强硬派は東京ステーションホテルにそれぞれ會合兩相對峙して氣勢を擧げ、兩派對立して敢然理論鬪爭を行つてゐるが、自重派は昨年鑑みして齋藤内閣援助の態度を決定したのは議員總會だから、黨出身閣僚を引退せしむるや否やの討議決定も當然議員總會で決定すべきだ、故に去る二十五日の幹部會で決定した申合せの趣旨が閣僚引退を含むものと雖も何等討議を拘束するものではないと主張し最後の爭點を議員

「總會」に於ける數によつて決せんとする傾向顯著なるものあり、正に大正十三年の分裂直前に於ける黨情にも比すべき危殆一髮の險惡さをへ示してゐる

急進代議士が自重派會場へ
一時はえらい事

(東京九日發國通) 政友會自重派の東武氏木下成太郎氏其他五十名は昨日午後六時芝三緣亭で懇談の結果、結束强固黨の大勢をリードするに決定し、鈴木總裁に「大義名分に立脚せんとす、自重派が黨内多數を占むる故善處を希望す」との長文電報を發したるに、此の時原惣兵衛氏、河野一郎氏等の急進派代議士會場に乘り込み自重派が開會通知を黨内全部に發しなかつた事は黨内に黨を樹つるものと詰問して、一時議場總立となつたが、結局九日午後一時芝三緣亭で兩派の委員十五名宛が會見して意見を交換する

政友急進派
文相を訪問す

(東京八日發國通) 政友會急進派實行委員原惣兵衛氏以下五名は、午前十一時鳩山文相を訪問、原氏より文相の決意を促し善處を求めた、文相は自分としては、閣員としての地位もあり、總裁に云はれた事もあるので、何等の意見も述べられないが、諸君の意見は承り置く旨を答へ意見交換ものである

裁斷に苦む
鈴木總裁

(東京九日發國通) 政友會内の急進自重兩派の勢力伯仲しつゝあり、その前途は豫斷出來ぬ狀勢にあるが、此の際鳩山文相の態度は最も重視されてゐる、最近の形勢は、鈴木總裁が、かりに强硬派の言ひ分を取り容れ、黨出身閣僚も留の意向を尊重するとしても、鳩山文相は直ちに内閣より引揚けす相當期間を置き、政策によるべく大義名分に則り態度を決定すべく見られる即ち一應急進派の言ひ分に從ふ事を表明して統制み了へ引揚げ時期は自重派の意向に副はんとするものである

鈴木總裁と密談
總裁いよく歸京
急進派の砂田、廣瀨兩氏

(京都八日發國通) 政友會急進派の領袖廣瀨、砂田の兩氏は本日午前八時四十分京都着木屋町の大津屋旅館に鈴木總裁不在中の黨情を報告し一時間以上密談を重ねたが、鈴木總裁は愈々午前十時京都發東京に向つた

儀我中佐
着任

(チチハル八日發國通) 新任チチハル特務機關長儀我誠七步兵中佐は八日午後五時四十分着列車で、着任した、因に同中佐は大尉、少佐時代張作霖軍事顧問として、奉天、北平に、在勤した有名な支那通で、張作霖爆死の際は同列車に乘組居り重傷を負つたことは世人の記憶に新たなる所である

熱河事務局いよく開く
協和會が承德に

滿洲協和會熱河地方事務局設置のため中央事務局より派遣された事務長佐多直澄氏以下の一行はいよく六日承德に着、直ちに新地方事務局の開設を見たが同局の陣容は左の通りである
局長張翼廷氏、副局長中野琥逸、總務科長兼地方科長佐多直澄、事務員室井慶二、熱河工作員增田重二、同園部英男の諸氏

大塚惟精氏
近く來京する

貴族院議員大塚惟精氏は同伴の石本氏と共に九日朝入港のハルビン丸で、滿鐵關東廳各代表の出迎へを受けて來連したが左の如く語つた
今後は全く慰問と視察だ、先づ新京に行つて軍の御意見を承り、旅行日程を決めたいと思つてゐる、滿洲には前に二回來たことがあるが滿洲國建國以來如何なる變化發達を遂げてゐるか樂しみにしてゐる、歸りには北鮮の方の港灣其他を見るつもりだ

法科教授の强硬案を携へ
小西京大總長上京

(京都九日發國通) 小西京大總長は昨八日夜十時京都發東上したが、總長携行の解決案は法科教授の意志に基く强硬なもので文部省が總長の言を聽かねば辭意を表明し、直ちに京大に歸り新總長の選擧を俟つて辭表を正式に提出するものと觀られてゐる

寬城子普通學校の教員給不拂ひ
教育上由々しい問題

東省特別區所管の寬城子普通學校では、教員十八名の二ケ月分給料不拂の爲、教員はハルビン本廳に對し至急支拂方を請求してゐるが、依然何等の應答なく、之が爲教員間では、寄り寄り對策の協議中で目下不穩の形勢はないが、事態を此の儘放置すれば、兒童教育上由々しき問題となるので文教部で銳意之が對策を進めてゐる

葆康氏一行
うらる丸で出帆

(大連九日發國通) 滿洲國民政部次長葆康氏、民政部土木司長劉秉璋氏外四名は滿洲國沿岸警備船の進水式に參列の爲、九日出帆のうらる丸で渡日の途に就く

印度志士一行
盛んな吉林入り
講演會は空前の盛況

印度志士プラタツプ、ナイル兩氏一行は八日午前十一時半吉林着、官民多數の出迎を受け、直ちに在吉新聞記者團と會見午後は居留民會懇談會に臨み、引續き夜間は講演會を開きナイル氏は「亞細亞の自由」またプラタツプ氏は「亞細亞」の演題下にそれぞれ熱辯を振つたが聽衆は軍部、官界、民間方面凡そ三百名の多數に上り吉林初つて以來の盛況であつた、なほ九日は午前十一時から省公署に於ける滿系官民有志招待會に、午後一時半から女子中學校および一般滿人のため講演したがこれも稀有の盛況であつた

四平街其他の日程

プラタツプ氏一行は十二日午後三時二十五分ハルビンより着京、十三日溥儀執政に、十四日は小磯關東軍參謀長に會見の豫定を終つて同日午後四時三十分發で四平街へ赴くことになつた、その後の日程は左の通り一部豫定を變更した
四平街 十四日午後六時四十七分着、植半宿泊、七時―九時滿鐵クラブで講演會(市民)十五日午前十時奉天へ向け出發
奉天 十五日午後一時三十分着、二時―三時三十分記者團と會見、六時―十時市民懇談歡迎會、十六日午前十時―十一時三十分、午後一時―二時學校講演、休憩、午後六時三十分―九時市民講演會(日本館)十七日午前七時三十分―十一時要人訪問、午後二時―二時三十分滿蒙講演會、十八日建國運動會のため市中見學十一時安東へ出發
安東 十九日午前七時十五分着九時―十時記者と會見午後一時―四時日滿有志懇談會、六時―十時講演會

不良外人記者
滿洲國外へ

滿洲國政府より退去を命ぜられて、一時在ハルビン英國領事館へ逃避中であつた札附の不良外人記者レノツクス、シンプソンは四日朝ハルビンを出發、滿洲國主權下外の大連で暫く滯在する模樣である

凱旋兵、傷病兵
六百餘名大連出發

滿洲國建國に偉勳を殘して原隊に歸還することゝなつた○○隊凱旋兵四百八十六名及び傷病兵百三十五名は愈々十日午後五時大連出帆の御用船海祥丸で離滿することゝなつた

べき決心である

樋貝恩給局長來滿

樋貝恩給局長は滿洲事變關係

興安省警務會議

興安總署では曩て各分省管下の警察を整理編成中であつたが、この程大體その完了を見たので今回右分省の警察局長を召集し來る二十一日より警務會議を開催することゝなつた

共產抗日の資金を集めた
支那學生遂に退去

(東京九日發國通) 滿洲事變後在留民國學生中に水害饑饉の難民救濟に名を借りて上海共產黨、抗日團体の資金を募集し三月十五日檢擧された二十二名は七日内相から退去を命ぜられ十三日神戶發の長崎丸で上海に送還されることゝなつた

林總裁上京

(大連九日發國通) 滿鐵總裁林博太郎伯は夫人同伴九日午前十時出帆のうらる丸で上京した、尙宮部營口海邊警察隊長も同船した

同文書院旅行隊

上海東亞同文書院大旅行隊六十餘名は十日午後三時三十分小付教授引卒の下に來京、協和旅館に投宿するが一行は夫々奧地各縣に分遣され、該地方の實地調査に當る筈である

安東でもビール洪水
漸く本腰の入滿

(安東發)日一日暑氣嚴しくなり昨今季節の踊り子たるビールの入滿は洪水の如く安東で栓を拔かれる數も非常なものであるが、四月一日から六月二日までに四打入箱が何んと二千三百二十箱入つてゐる、昨年に比し四割七分の增加振りであるがこれが本腰の入滿は六、七の一ケ月であるからまだザツと四千五六百箱は確實に安東經由入滿するであらふとみられ、而も殆ど安東の需要によるものゝ樣である、尙此の外に陸軍御用商人などの扱ひ品が殆ど右數に近い程輸送されるらしいから將に斷然氾濫しそうである

王軍政部次長
樂土建設の大業を語る

滿洲國軍政部次長王靜修氏は九日記者團に對して滿洲國王道樂土建設の大業につき滿洲國側の意嚮として大要左の如く語つた
迅雷耳を覆ふに暇なき日本軍隊の突進によりいたづらに威勢を張りし北支數十萬の支那軍は退卻又退卻ことに全く抵抗の意志を挫折して彼より停戰を乞ふに至つた高梁繁茂期を前にして精銳なる日本皇軍隊の新配置に就くはこれにより殘存匪賊を殲滅し國内を安逸ならしめるや期して待つべきである我滿洲國軍も兄たり師たり且信賴すべき日本國軍隊と協力し一致以て國内の治安維持の圖に任じ王道樂土建設の大業完成に努む

貴院正副議長
任命傳達式を擧行

(東京九日發國通) 德川貴族院議長の辭表は昨夜内閣に廻附された、後任に就いては近衞公の内諾を得たので、松平伯の副議長任命と共に、本日閣議で正式に決定、齋藤總理が多分本日宮内に參内上奏し、御裁可を得て、本日午後三時近衞公、松平伯兩氏へ任命傳達式を行ふ筈

陳友仁の赴日で
北平軍事當局大狼狽

(北平九日發國通) 香港電によつて陳友仁が秩父丸で秘密に日本に赴いたとの報は馮玉祥の一蔣に次で西南派の胡漢民、唐紹儀、李宗仁等が停戰反對態度を表明の今日、當地軍政當局に非常なセンセーシヨンを捲起し陳友仁の任務は何れにありやと中央に對して問合せる外羅文幹に人を派して探りを入れる等の狼狽振りを見せて居る

公債事務打合せの爲め來滿することゝなり去る四日東京發八日午後七時五十分着京したが九日午前八時飛行機にて敦化、龍井に向つた、同氏は十一日午後一時半新京歸京十二日ハトにて奉天を經て錦州に向ふことゝなつた

崩壞過程を辿る
滿洲國不承認政策

二

ここまでの經過は明かにスチムソン、ドクトリンの勝利を物語つてゐる、たとへそれが表面的であるにもせよ。しかし滿洲國不承認主義は今や事實上の問題として、崩壞せんとしてゐる
崩壞過程への第一事象は、ソヴィエーロシアの東支鐵道讓渡問題である
蘇聯は東鐵を日滿兩國の孰れかに賣却讓渡したいとの意向を表示したばかりか駐日ロシア大使ユレーネフ氏は「本件の圓滿解決が達成さるる場合、ロシアは事實上滿洲國を承認せる結果になる」ことを言明してゐる
ソヴィエートロシアが滿洲の事態について最早支那を問題とせず事實に即して日滿露三國間の問題の解決を圖らんとしてゐることは外交委員長リトヴィノフ氏が東鐵讓渡問題に對する支那側の抗議に對し「支那は十八ケ月間も條約の義務を履行していないではないか」と言明したことや、赤露の有名な外交批評家ラデツク氏やモスコー、デリー、ニユースなどの皮肉たつぷりな言論に就ても明かである
ラデツク氏は謂ふ「東鐵を赤化宣傳の根城としたとてあれほどまで嫌はれたソヴイエートが張學良の歸つて來るまで滿洲に待つてゐねばならぬとは矛盾も甚だしい、日本に賣らからいけないといふが滿洲には南京も張學良もないのにどうして交涉が出來るましてや一戰も交へずしてあれほど手易く手放した滿洲ではないか、彼等が廣言するが如くにやがて再び彼等が滿洲の主人になるのであつたなら東鐵は勿論彼等の手に戾るのだから騷ぎ立てる必要はなからう(イズヴエスチア紙)
モスコー、デリー、ニユースも亦「支那は、滿洲と共に東支鐵道を失つたものだ」と喝破し現實を無視せる支那の饒舌を嘲笑してゐるこの問題に就ては獨り赤露の新聞ばかりではない、ニユーヨークのイヴニング、ポストも亦現實的見地からソヴイエートロシアが同鐵道の現在の支配者たる滿洲國に東鐵を賣卻することは何等問題でなく、之によつて極東の平和が確保されるとの主旨から次の如き論說を揭げてゐるのは注目に値する
ソヴイエート聯邦は東支鐵道問題に關し、支那側が過去十八ケ月間同鐵道の共同管理の責に任ぜず、條約義務遂行の能力なく、且ソヴイエート聯邦は之を第三國に賣卻せざるの義務を有せずとなして之が賣卻を急ぎ居れるが、この議論は現實的見地より見て論爭の餘地がない、現在同鐵道を支配してゐるのは滿洲國であり、ソヴイエート聯邦は支那側の權利を保護すべき義務なく且つ自ら鐵道の利益を保持するため日本との紛爭に捲込まるる危險をもつてゐる、故にソヴイエートは今極東平和の政策を執れるものである、と述べ「賣卻の手段の協定の至難な點」を指摘した後「支那側の抗議がその賣卻を阻止し得ざることだけは確かである」と結んでゐる(五、一五日)

一、新京列車ホテル日覆假設工事(八日)落札 四六〇圓 志岐組
一、新京ヤマトホテル自動車庫建築工事二十(九日)落札 二七七四三圓 大倉組
一、市營住宅 磚運搬工事(九日市公署)落札 一二二一圓 隆興公司
一、測量標[illegible]便所工事(九日市公署)落札 一八九圓 德盛公司
一、修理廟産房屋工事(九日市公署)落札 一四二圓 德盛公司

▲鷲田俊一氏(南滿電氣新京支店電路係長)大連本店勤務を命ぜられ九日午後出發

天氣と氣溫

九日の氣溫最高三十二度五最低十三度七、十日の天氣南西の風晴れのち曇り

停戰協定お土産一つ 滿洲國郵税を 河北では事實上承認
支那の申出を滿洲國で許可

〔奉天九日發國通〕滿洲郵政管理局では昨年七月二十五日中國郵政局を一齊に接收して以來滿洲の郵政關係は惡化し支那は爾來不承認國たるの理由を以て滿洲國郵税を認めず支那に郵送せる郵便物は悉く未納税郵便物として取扱ひ封書一通十錢、葉書一通四錢宛の未納料を徴收して居た、一方支那を除く他國宛の郵便物帖付郵便物は公然通用し事實上郵税上より成る滿洲國承認の情勢にあり支那のみ不法行爲を繼續して居たものであるが五月三十一日の日支停戰協定成立するや先日支那は山海關中華郵政局長バルトレ氏をして灤河以東以西及北平、天津一帶に於ける滿洲郵便物に限り未納徴收法を執らず交換し度いとの希望を齎し滿洲國に於ても右に對し許可を與へた、斯くて北支に於ては事實上滿洲國を承認した形となり、注目に價するものがある

拳銃强盜 宵の口に入る

〔安東發〕六日午後九時ごろ安東七道溝第二區第五十號孫彩紅方に家族が雜談中黒支那服の二十五、六歳と三十二、三歳の支那人が表門より侵入したが家族の一人が普通の來客と思ひ土間に出でんとするや、件の二支那人の一人は出口を見張り他の一人は拳銃を突付け金品を强奪小洋十一圓八十錢金票八十錢純金耳飾り一組（時價八圓）を强奪し何れにか逃走した

試驗中飛行機墜落大破す 操縱者は落下傘で下降

〔奉天八日發國通〕本日午前九時頃奉天西飛行場に於て〇〇式飛行機の性能試驗飛行中機械に故障を生じ同機は畑中に墜落大破したが操縱者畑山曹長は落下傘で下降微傷だに受けなかつた

不正乘車の防止デー成績
京鐵管內の結果

過般新京鐵道事務所で管內一帶に亘り行つた一週間の不正乘車券防止デーの結果は次の如くである
脫札數三百六十五件、內新京驛三十八件、▲無改鋏數六件內新京驛一件▲無札旅客下車二件▲無札乘車七十九件、內新京驛三十三件▲無札旅客を乘車せしめた數陶家屯一件▲乘越件數九件▲大屯驛より脫札取調の請求を受けたる數五件▲途中下車印を忘れた數公主嶺一件合計四百六十件

卒業生全部お招き 高女の學藝會

新京高等女學校では過日卒業生一同が母校の爲に大花瓶を一個寄贈したのでそのお祝を兼ね返禮の意味に於て十日午後一時より卒業生全部を招待して全校生徒の學藝會を開催する

朝鮮人の世界一週旅行

朝鮮城津生住柳利根君(二六)は昭和五年六月世界一週を志し先づ鮮內を一週、內地に渡り九州、四國をふり出しに樺太まで延ばし、次で滿洲に來り奉天、大連を經て上海、台灣に渡り南支廣東に向つたが排日運動のためやむなく昨年十月一旦歸鮮、本年一月露領沿海州を一週再び京城へ引返しこの程渡滿八日新京着、いよ／＼これからハルビン、チチハル、マンチユリーを經てシベリアから歐州へ向ふ予定

スポーツ界の重要事項協議
滿洲國体育協會で

十日文教部總長室に於て滿洲國体育協會々議を開催、各省代表者十二名文教部より社會教育科長外數名列席協議會を開催するが決議事項は次の如くである
一、滿洲國体育協會足球部、陸上競技部、籠球部、排球部委員は會及、各支部委員會聯盟構成に關する事項
二、早大陸上競技部選手歡迎競技會（七月十六日開催）に滿洲國陸上競技部參加に關する件
三、日本女子スポーツ聯盟招牌の滿洲國女子選手派遣に關する事項（八月中旬開催）
四、建國記念第二回大運動會（ラヂオの夕）六月十七日午後五時三十分より七時まで開催に關する事項

今度は おばさんの人形使節
山根菊子女史 遙々東京から來滿

過般松平明子孃以下の人形使節の手により平和の大和人形が執政以下の要人に贈られたが、今回又執政夫妻へ人形使節として雜誌「女性時代」社長山根菊子女史が新京を訪ね、一兩日中に執政府を訪問の筈である、同女史の携へ來つた人形は日本「三名將」信長、秀吉、家康の人形で何れも天下を統一した將軍なので執政に適應した贈物である、夫人には日本婦人の典型靜御前の人形が贈られる、尚ほ山根女史は日本婦人相愛會長として慈善事業に一身を捧げて居り、新京で講演會を催し、近くハルビンに向ふ豫定である

北支の戰に偉動 わが空の威力
きのふ新京に凱旋

北支の戰鬪に四ヶ月空の威力を示した關東軍飛行〇〇隊は岩下大佐を編隊長として〇〇機〇機〇〇機〇機は今朝七時十分綏中を出發、名譽の凱旋に向ひ、途中奉天に〇〇機〇〇機は着陸したが、他は全部新京の上空に十一時姿を現はし新京市民の歡迎裡に無事歸還した、飛行場に於ける凱旋の祝賀式には岩下大佐の凱旋挨拶があつた、尚十日は地上部隊も歸京の予定である

大角力協會の沿線興行決定
新京は廿八、九日

日本大角力協會は來る十五日より七月七日まで滿鐵沿線各地に於て左記の日取りを以て角力興行を行ふこととなつた
旅順六月十五日△大連十六日二十一日△鞍山二十二日△撫順二十三日△奉天二十四日二十六日△四平街二十七日△新京二十八日―二十九日△安東七月一日―二日
なほ右入場料金は特等三圓、一等二圓五十錢、二等一圓五十錢、三等一圓であるが、滿鐵では特に觀覽客の便利を計り各驛より開催地までの列車（二、三等）について三割引の往復乘車券を發賣すること

觀覽客に運賃割引

滿鐵では次の規定に基き運賃の割引をする事となつた
六月十五日より七月二日まで沿線各地に於て開催される日本大角力撲興行觀覽客に對して
一、往路通用期間開原、公主嶺間は四平街で催される二十七日の四平街着午後零時四十分第十七列車及、四平街着午後零時三十八分第二十二列車までとする
▲公主嶺、孟家屯間は新京で開催される二十八、九日中最終日の新京着午後三時卅十分第十七列車までとする
二、本割引往復乘車券の通用期間は乘車券發賣當日より相撲興行最終日の翌日迄とす
三、本割引乘車券は相撲入場券を所持する旅客に對してのみ發賣するものなるに付き割引證に發賣の證として印を捺す
四、割引乘車券所持者に對しては途中下車の取扱を爲さず又復路乘車せざる場合は既收の往復運賃より往路に對する普通運賃並手數料一人十錢を控除したる殘額の拂戾をなす
五、相撲入場券は乘車割引券發賣期間中各驛に於て一般希望者に對し之を發賣す
六、入場料金は特等三圓、一等二圓九十錢、二等一圓五十錢、三等一圓
七、開催日旅順六月十五日、大連、六月十六日より二十一日鞍山二十五日撫順二十三日、奉天二十四日より二十六日、四平街二十七日、新京二十八日二十九日、安東七月一日、二日
八、割引率二、三等に限り普通運賃の三割引とする

時局解說
對蘇問題 其後の經過（三）
ボグラニーチナヤの連絡封鎖問題

ソ聯側の北滿鐵道財政機關車車輛盜引問題については、曩に四月十二日滿洲國側より卅日の期限を付し、その返還を要求するところありたるが、ソ聯側は車輛の返還を表面的に應諾せるも、機關車はソ聯の財產なりとして返還を肯んせず、滿州國側の要求期限日たる五月十二日に至るも明答なかりし爲め、當時滿洲里同樣、ボグラニーチナヤのトランシフト封鎖斷行說が有力に說かれたが、滿洲國側では一先づ靜觀を持し、ソ聯側の反省による平和的解決を待望してゐたところ、ソ聯側の態度不變なるのみか自由通行の可能狀態に殘されたボグラニーチナヤ驛を經由し、機關車及び車輛の盜引を依然繼續して居るといふ事に鑑み、滿州國側は卅一日午前十時を期してボグラニーチナヤのトランシフト封鎖斷行を決し、同二時之を完了した、これと同時に交通部はソ聯當事者に聲明書を手交した
右ボグラニーチナヤのトランシフト封鎖に關し丁交通部總長は同日午後四時談話の形式を以て
「本五月三十一日を期して北滿鐵路督辦に對しボグラニーチナヤに於けるウスリー鐵道との貨車直通輸送を停止することを命じた、抑も本件は世上周知の如く滿洲事變以來常識を逸したる長期貨車の莫大なる抑留及び無斷撤去せる機關車其他[illegible]を發したる再三の抗議請求に拘らずソ聯幹部は頑として之の返還に應せず、且つ從來より把握せる運輸上の事實的實權により時に應じ、機に臨み車輛の國外搬出を企て其實動に全く信をおく能はざるに至りたる結果、止むなく督辦の直轄する鐵道警備隊をして北鐵財產擁護のため、この擧に出たものである」と聲明
「ソ聯側の反省確認まではあくまで適切有效なる手段を以て邁進する決心である、今回の貨車の直通運輸停止の如きは單にその一端に過ぎない」
と極めて强硬なる態度を示して
滿洲國側の敢然たる閉鎖措置に對し北鐵副理事長クズネツォフ氏は一日午前十一時北鐵督辦李紹庚氏に對し口頭を以て、「ボグラニーチナヤ驛の直通輸送封鎖はトランシフト協定の一方的破棄である」と共に「至急原狀に復歸されたき」旨を要求したが李督辦はソ聯側の不法事實を指摘し、その反省を促すと共に、ソ副理事長の要求を一蹴した、翌二日駐哈總領事スラウツキー氏も亦外交部特派交涉員施履本氏を訪ね「滿洲國が一方的意思を以しボグラニーチナヤ驛を封鎖せるは遺憾である」と口頭を以て非公式に抗議した

女子全部に中等教育實施
高女に代る新機關を設置か
奉天から歸つた江部校長の話

滿鐵の臨時教育調査會女子部委員會は既報の如く五日より八日迄四日間に亘つて奉天高女に於て行はれたが出席中の江部新京高等女學校長は八日午後七時五十分着『鳩號』で歸京同校長は應訪の記者に對し「本會の立案內容に付いては未だ發表の時機でないから」と冒頭して大要左の如く語つた
本會の委員會はこれで二回目で最初の五、六日は第一委員會、後の七、八日は第二委員會であつて第一委員會と言ふのは高等小學校から女子中等學校を卒業する迄の過程卽ち十二歲より十六歲迄の教育について種々立案したのでその內容は今ながら今話す事は出來ないがアウトラインを語れば今後の教育を如何にするかと言ふ事で『現在』の不完全な教育をより良く改善し小學校の女子全部に中等教育を施したいと言ふので第一の主眼である、然しこれは家庭の都合或は兒童の腦力等によつて一樣に出來ないので別に女學校に代るべき教育機關を設置したい爲で何れは實施される事と思ふ、第二委員會は女學校の卒業生にして更に高等の教育を受けたい希望者に對して滿洲にも適當なその機關を設けたいが目下の處『如何』なる機關が必要であるか立案種々打合せを行つた今回の下旬頃迄には確定し發表される運びとなるだらう

大運動會に先立ち ラヂオの夕
十七日新京放送局で

滿洲國文教部に於ては近く盛大に開催される建國記念第二回大運動會に先立ち來る十七日夕五時半より七時迄のプログラムで約一時間半に渡り新京放送局に於て建國記念第二回大運動會ラヂオの夕を催す事となつた
一、開會の辭　社會教育課長　古閑亮
二、國歌　新京城內女子中學生徒
三、運動會歌　新京城內女子中學生徒（滿洲國語にて）新京高等女學校四年生（日語にて）
四、運動會開催趣旨並に內容に關する講演　体育協會主事　久保田完三　通譯　錢寶淸
五、建國唱歌　運動會歌オーケストラ　滿鐵音樂會員

待ち兼ねるホテル納涼園
來る十五日頃開く

暑くなつて來ると待ち兼ねられる新京ヤマトホテルの納涼園は暑準備が整つたので天候さへ安定すれば來る十五日夜あたりから開園することになつてゐる

荒木章氏令妹

新京滿鐵地方事務所長荒木章氏夫妻は九日朝令妹（大連眞鍋氏令孃）逝去の報に接し同朝九時新京發で大連に向つた

范家屯通信

◎製氷會社設立 工業用敷地■工業水に惠まれたる范家屯は新京郊外の都市として發展を見ることは頗る顯著なる事實なるも今回內地より來滿の某氏は范家屯に製氷會社設立を計畫し敷地の借受けを了した
◎八大泉眼に鐵道部乘出す 范家屯の發展策として且つ又新京が工業都市として水が不足であるといふ悲觀材料をノックアウトするに范家屯の八大泉眼の利用を當地委員會に於て提唱されて以來世間より多大の關心を以つて迎へられてゐる八大泉眼に對し滿鐵鐵道部においては愈々本格的に調査を開始し昨七日滿鐵本社鐵道部より水道の權威者重任虎男氏來范し新京鐵道事務所工務長■尾正二氏等と共に實地調査の結果頗る有望なる見込を得て近くボーリングを開始する事になつた（八年七月八日）

今夏滿洲博に水上選手招聘
スポーツ週間の催し

〔東京九日發國通〕今年七月二十二日から八月末日迄大連市で開催される滿洲大博覽會の開會期間中、約一週間に亘りスポーツ週間を催すことゝなり、最近同博覽會當事者は大日本及滿洲体育協會から日本水上聯盟宛に競泳選手十三名、飛込選手二名を同週間に派遣されたき旨、書狀が到着した、水上聯盟では、水泳不振の滿洲に選手を派遣するは有意義なので、派遣することに決する模樣である

今成覺禪師來る

第三文化教團主宰として教界に異彩を放つてゐる今成覺禪師は內地鮮滿各地巡講の途、來る十二、三の兩日當地に來る同師の講演は既に定評のある所、其の大乘禪に對する深い體認は各宗教、各社會思想に對する透徹せる理解と快なる批判と相俟つて深い感銘を與へずには措かぬであらう、同講演は十二日午前十時、午後七時の二回、祝町太子堂に於て、十二日午後一時、七時の二回曙町大正寺に於て行ふ由

全新京庭球大會
愈々十一日に決定

新京体育聯盟西山運動具店共同主催新京日日新聞社および本社後援の全新京庭球大會は十一日午前九時から新京滿鐵社員倶樂部後庭コートで開催に決定した、申込期日は十日中尚當日現場でも便宜受附く、試合方法はエービー組に分ち試合の順序は當日抽籤により決定する、會費は一組金八十錢とし當日晝食券と引換に徵集する、賞品はエービー組とも優勝カップ副賞としてメタル等を何れも西山運動具店から寄贈するが現品は同店のウインドウに既に陳列されてゐる

フインランド世界一周機 京城發羽田へ

〔東京九日發國通〕フインランド飛行家ピアノ、ブレーメル氏はヘルシングフォース發世界一周の途にあつたが八日午前五時上海發午後四時半京城着今九日午前五時十九分京城發大阪着の後羽田に向ふ

市橋同仁醫院主十一日出發

新京富士町同仁醫院主市橋貞二氏は既報の通り三ケ年を期し奉天醫大に研究に赴くこととなり留守中を同科生鈴木誠一氏に委ね十一日朝發列車で家族同伴出發するので九日暇乞に本社へ來訪した

とやかく

▲ミス東洋のヒトミ、このジヤンダイが全力をあげて宣傳するだけあつて至つて溫順なそれで色氣たつぷりな靜かなサービスでローヤル連を惱殺してゐる▲こゝのマスミ、以前曙で左褄を取つてゐた人で或？深い事情のため餘儀なくこゝで働いてゐるそうだが近頃ごつしたものか目立つてやせて來た、ハルビンの彼氏への戀慕の爲か、それとも激務の爲かファン連中氣をもむ事▲精養軒の八重子先日〇〇社の某さんとしきりに煙草でイチヤ／＼してゐた道理で某さんの頭が近頃なんだがく變だと思つた、上氣したかけんだらう

吉凶禍福

△新京露月町一丁目滿鐵社宅一ノ四乘田千代太郎氏三女靜江さん六日出生
△新京敷島通二四六渡邊誠氏男兒滿さん七日出生
△新京祝町一丁目郵便局構內十五號宿舍、谷口久巳氏長男公平さん三日出生

捕虜を通して見た 中央軍に就て（三）
―關東軍參謀部―

一二、衛生機關に就て

一團三、四十よりなる衛生隊あり、前線より後方七、八支里に野戰病院あり、坦架は第一線より、自動車は坦架にて運搬せるものを後方に送る石匣鎭に師部病院ありて症患者は北平に運搬す、一般に醫藥不足しあるを以て、患者は第一線にては一回施療治療すれば、再び顧ることなしと云ふ

一三、督戰隊に就て

通常後方にある（○隊）隊備隊等この任務に服す、若し逃亡又は敗走するものあらば之を射殺す、然れ共全般總崩れの際は、督戰隊も亦施すべき策なし

一四、北平に於ける第八十三師長劉戡の將兵に對する訓示に就て

今回は日本軍を打倒せざるべからず、日本軍は飛行機を有するを以て若し之を發見せば地に伏せ動くべからず。吾人の責務は、古北口における日軍を擊破すれば、反轉吏に共產黨軍を擊滅せざるべからず、國步艱難の秋なり、將兵の奮起を望む。

註（第八十三師も又共產黨軍の掃蕩に任じありしものなり）

一五、支那內地戰と今次戰鬪との比較研究

最近に於ても南軍は屢々共產黨軍と交戰せしも、彼等は兵器優秀ならず、共產黨軍の如きは兵器不備にして大刀を所持するもの多し。之に反し日本軍は兵器優良にして、殊に其飛行機の爆擊、砲兵の射擊は效果大なり。

一六、捕虜の心境に就て

捕虜せられたる常時は、當然銃殺せらるるものと信じたるも日本の仁慈により生を保つを得たり、一同感激しあり日軍の寬容ひて勞役に服すべく、若し將來時期を得れば、家鄉に歸らしめられ度しと願ふものあり、一般に南方人多く、逃走するも言語異る爲直に發見せらるるを以て、決して逃走することなしと云ふ

一七、支那兵の見たる日本軍

優點

1、日本軍の兵器可なり、特に飛行機の爆彈及砲兵の集中射擊、機關銃射擊恐ろし、特に飛行機は恐怖の集點なり

2、日本軍は小銃の射擊巧なり

3、日本軍の突擊威力大なり

缺點

1、服裝重し、裝具多きに失せずや

2、山地戰に於ては、皮靴よりも支那靴可ならべし

一八、戰鬪目的の認識に就て

彼等は支那軍が、何故に古北口に來襲せるや確に目的を知悉せざるものあり、只上官の壓迫强制に依り、命只之に從ふのみ、一般兵の中には逃亡の機會のみを窺ふものあり

一九、支那兵の頑强なる抵抗を行ふ原因に就て

支那軍中には、ゲイ、ペー、ウーの如き組織あり、兵の言動を監視し、若し發見すれば之を銃殺す、故に兵は相互自由に談話を交換することを能はず退かんか督戰隊により射殺せらる、進まんか、日本軍に擊破せらる進むも死、退くも死なり、故に活路は只日本軍を擊破するあるのみなり。彼が必死的抵抗を行ふ原因はここに存すべしと雖も、幹部兵卒に徹底せる抗日精神亦之を沒却すべからず

結言

今次我軍に抗戰し、又抗戰せんとするものは、蔣介石系を主体とする軍隊にして、以上綜合記述せる所は、單に敎育訓練十分なる支那兵の述ぶる所にして多少の誤謬無きを保し難し

彼等の軍隊の有する打倒日本の精神は、十數年の時日と試練とを經て今日に及ぶ、決して一朝一夕のものに非ず、陣中彼等が携帶せる書類は、軍事學に非ざれば、即ち抗日の文書なり、彼等が頑强執拗なる抵抗を試みんとする一因又玆に存せずんばあらず

北支の政情は多少混沌たるものあるが如く、中央軍亦、多くの惱みを有しあることは想察するに難からずと雖も、未だ何れの軍閥も、排滿抗日を叫ばざるものあるを聞かず、將來戰の爲愚昧なる捕虜の言が何等かの參考たり得れば、望外の幸とする所なり（終）

氣遣はれたマターン機
不時着と判明

（モスクワ八日發國通）安否を氣遣はれてゐた世界早廻りのマターン機は八日午前に至りノグオシビリスクを去る六百粁のブロコビエフスクに不時着しゐる事判明した

匪賊占據の安圖縣奪回
撫松縣警備隊が

（奉天八日發國通）曩に安圖縣を襲ふた、公憲永匪討伐に向つた撫松縣警備司令王隊長の率ゐる千名は安圖縣保安隊長と呼應して六日午後一齊に攻擊縣城を强襲に占據した同匪を掃蕩午後五時遂に同縣城を奪回、匪賊の縣城占據以來本日迄約一ケ月半匪賊の迫害に泣いて居た同地住民を完全に救出した、本戰鬪に於て敵の捕虜五十四長銃四十二を鹵獲した

モリソン夫妻は無事
無着陸飛行の門出で機體顚覆

（ロンドン八日發國通）モリソン氏並にアミイ夫人は八日午前五時三十分クロドン飛行場よりロンドン、ニューヨーク間無着陸飛行の壯圖に就かんとしたが一〇〇ヤードばかり滑走したところ突如機體顚覆大破した、今週中には再起不可能となつたが夫妻は無事である

馬賊討伐
各地共良好

滿洲國軍政部最高顧問多田少將は花田大尉帶同奉天靖安軍の檢閱を了へ本八日午後七時五十分新京驛着ハトで歸任した、高粱繁茂期を控へ行はれつつある馬賊討伐狀況について問へば語る

馬賊討伐は今月早々から既に吉林、奉天及び東部國境各地方で日滿兩軍協力のもとに開始されてゐる、滿洲國としては各省警備軍制を布いて最初の討伐であり、警備陸軍の名に恥ぢない成績を擧ぐ可く將士共に善戰これ努めて居る、討伐狀況は時々刻々軍政部に達して居るが、各方面共良好に進捗して居る、討伐の豫定期間はハツキリ定つて居ないが高粱繁茂期迄には相當の討伐成績を擧げるものと確信して居る

電氣時計
時の記念日と

いよいよ十日は「時の記念日」で新京では各學校の記念講演を始め警察、消防隊、地方事務所の宣傳巡行、少年團の通行者に對する時の注意等いろいろの行事があるが南滿電氣新京支店では同店で扱ふ電氣時計の宣傳にあの建物の窓下に大きな電氣時計數個を吊下げその分秒も差異なき精確さを示すこととなつた

大好評
滿洲國の全貌

滿洲國建國以來現在に至るまでの滿洲國發展の經過、現狀を廣く全滿民衆に紹介するため、建國中央委員會の手に成る映畫「滿洲の全貌」は、八日午後七時より市立第一小學校々庭に於て映寫されたが各學校生徒、團体一般市民多數觀覽。場內立錐の餘地なく、何れも王道樂土を謳歌して引續いて九日も同所に於て同時刻より開催される筈である

石井漠一門
新作舞踊

滿鐵地方課の後援大連技藝女學校同窓會主催で來る十二三の兩夜新京女學校で石井漠氏新作舞踊公演會が催される入場料一圓五十錢前賣一圓、一行は石井漠同みどり同美笑子、同靜子、寒水多久茂、ピアノヴァイオリン伴奏に林敏夫田島己之助の諸氏、プログラムは「三つの魂」これがもせる、ソルヴエーヂの歌、コリウオークのケーキウオーク、白鳥湖アントラの踊望みを寄せて、プリズム一九三三年、海のファンタジイ、かたつむりと雨、森の道化もの、人間軌道等々で午後七時開演

映畫だより

長春座は九日から三日間日曜日晝夜松竹下加茂の特作品上榮五郎主演の大岡政談捕物時雨傘、小津安次郎監督田中絹代、岡田嘉子、江川宇禮男主演の東京の女を上場する次週はいよいよオールトーキー松竹蒲田の特作品議會田中絹代主演の應援團長の戀と下加茂の作品巷說ぬれつばめを紹介に決つた

ちぐさ移轉
新三浦新經營

九州八幡から進出した新京日本橋通り裏蓼酒家の向側に開業した料亭千草は大繁昌で手狹となり長春座裏料亭松島を買收大阪連を加へ移轉し、元のところは新三浦と屋號を改め大勉强をするから御最負御

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	八四	氷鯛	三六
チヌ鯛	三二	アマ鯛	四〇
小鯛	三六	ニベ	三〇
ヒラス	三八	サワラ	三四
スヽキ	二八	星カレ	二五
ヒラメ	二三	マナカツ	八〇
トビウオ	三一	サヨリ	五〇
グチ	一三	カマス	三一
ホーボ	二〇	フカ	一六
赤エイ	一〇	タコ	二三
甲イカ	二二	イセエビ	八〇
車エビ	三二	カニ	一二
アナゴ	三〇	アワビ	六五
ハマグリ	六	シヾミ	八
カマボコ	二七	小干	五
ヒラ	五	尾る	四

圍碁新手合（二局の十四）

三段 石塚行誠
五子 高橋久吉

積極方針 左下直接に手段を求める（卅一）
黑頭巾評

前回說明の不足不充分を少々追加して置きます。

黑（い）と深く進入したのに對して、白（ろ）と受けても亦「□五十六」と頂けても餘り香しからぬとすれば、白は寧ろ、積極方針に出で、左下隅へ直接に手段を求めて行くより外はあるまい。

そこで白「□五十九」と置き石の下腹へ頂けて行つたとする

その場合、黑は兎に角、「□六十」と外の方から約へ付けるにかぎる。

で白「□五十七」なら、黑「□六十三」と肩を粘ぎ、白「□六十六」と斜走した時に、黑はその方面を手拔きして（は）と二間に開いて行くのである。

又白「□五十七」と伸びずに「□六十一」と締ねても、黑は矢張り「□六十三」と肩を粘いで良い。で白（り）なら黑「□六十二」と約へ白「□五十八」黑（ほ）白「□六十五」と覗いて行ける。

或は又、前の手順の中「□六十三」と肩を粘りだ時に、白「□六十二」と伸びるならば、黑「□五十七」と當てる。で、白「□五十六」と尖み、黑（は）白（へ）黑（と）白（ち）黑「□六十四」と當て、白（り）と粘ぎ、此時黑側によい步を讓つて（ぬ）と粘ぐもの

して、白（ろ）黑（る）白（を）黑（は）白（か）黑（よ）白（た）黑（九）白（そ）黑（つ）となつて黑の有利な事は、議を俟たぬのである。

生かす心持

では、今度白「□五十七」へ入つた場合は何うなるか？といふに、黑「□五十九」と約へ、白「□五十八」と押した時に黑（ね）と下る。こゝでは或は白を徹底的に取りに掛かる手段もあらうが、五子位の碁には却々取れさうもないのであるから、輕く白を生かす心持で打つ方が宜しい。白（な）と飛び頂けたら、黑（ら）と上から約へ、白（む）黑（う）白（ゐ）となつて生きを計らねばならぬ。それで、黑は亦、（は）と二間開きをする手順になる。

手も足も出ぬ

この外、何う變化した處が、黑は、「□五十六」にあるより、一路飛ばして（い）と打つて行く方が、白地削減の方便としては、より適切であつたやうである。

黑か（は）と二間開きをする手順になると、白は最早應手もないやうである。

と言つて左下隅を侵さぬ事には碁にはならぬのであるから手も足も出ぬ所であつた。

異議がある

黑「□五十六」と大斜走したので、白は直ぐ隅「□五十七」と三ノ三に飛込んだ。

續いて、黑「□十八」と約へ白「□五十九」黑「□十」白「□六十一」黑「□六十二」白「□六十三」黑「□六十四」白「□六十五」黑「□六十六」白「□六十七」と劫に受けるが外に手段もない所。

これは普通の定石である。

だが、こゝで黑「□六十八」と綿ねた手には異議がある。

その說明は次回に又申上げる事にする。

胃腸

病原因に作用する酵素劑

藥劑を服用させて豫期の効果が現れなくては、患者の不滿はいふ迄もなく、醫家としても面目を失する。といつて例へば、胃酸過多症に重曹劑を服用させると、胃酸過多症の一症候である呑酸は解消して、一時患者を滿足させるが、呑酸の原因である胃酸過多症そのものを治癒する効果に缺けるから、思慮ある醫家は、一の症候だけを解消して病源を治癒する効のない對症藥劑を服用させることは屢々躊躇する。

然るに「わかもと」は、症候だけを解消する對症藥劑と異り、先づ胃腸疾患の根源を治癒するを目的とする活性酵素劑である。——即ち「わかもと」中の多種活性酵素は、衰退した胃腸の組織細胞を再生賦活して、健全な機能に更生させる作用が顯著であるから、「わかもと」だけで胃酸過多症、胃弱、胃下垂、胃潰瘍、腸カタール等を根源から治癒に導く、——斯くして原症が治癒する結果、原症の症候である呑酸、胃痛、膨滿感等は必然的に解消する。

便秘……更に、便秘に於ても、「わかもと」は下劑の樣に腸を刺戟して一時的に便通をつける對症的作用でなく、腸の組織細胞を根源から强健にして蠕動を正調するため、頑固に停滯せる便も遂に腸の自力で排泄されるに至り、併も下劑の如く危險な副作用もなく、習慣性も絶對に伴はない。

三十日量 一圓六十錢

榮養

一般 榮養劑に優る酵素榮養劑

榮養劑を必要とする程の衰弱者は必ず胃腸も衰弱してゐる。——この種の衰弱病者には種々の榮養劑を服用させても胃腸が衰弱してゐる爲に榮養の吸收が充分に行はれず、たとへアミノ酸劑の樣な吸收され易い性質の榮養劑だとしても、毎日僅か數瓦を服用させて稀薄に養素を補給した位では、衰弱の恢復が捗々しくないのが當然である。

然るに、單なる榮養劑でなく、酵素榮養劑である「わかもと」は、先づその酵素の作用によつて衰弱した胃腸を健全にし、食慾を增進して、胃腸をして專ら榮養の吸收に當らしめるから、三度々々の食餌からだけでも、一日服用させる榮養劑の十數倍、——即ち、數十瓦、數百瓦の榮養素が吸收されるは容易である上に、更に「わかもと」中の可溶性の蛋白、脂肪、含水炭素、無機鹽類、各種ヴイタミン等の榮養素が補給されるので、單なる榮養劑を服用させても著効のなかつた慢性胃腸病者、結核、虚弱兒等も「わかもと」を服用せしむれば、能く肉つき、體重をまし、衰弱を恢復するに至るのである。

脚氣……近來、脚氣の豫防と治療に卓効あるヴイタミンBが、貧血の治療にも著効あることが立證されたが、「わかもと」中の豐富なヴイタミンBは、組成中の鐵分との綜合効果により、從來、鐵劑又は砒素劑を以てしても捗々しくなかつた貧血患者に、血色素を增加させ、健康人特有の紅潮を呈せしめるに至るは、醫家も驚異とする處である。

（藥價低廉・榮養と育兒の會・發賣）